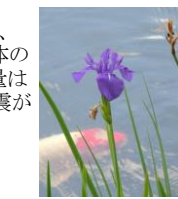


\*4月1日、「平成」から「令和」へ新元号が発表になりました。民間では事前に予想を募集しており、予想されたものを使わないとの発表もありました。「令和」は現存する日本最古の歌集『万葉集』を出典としているところも話題になり、発表時の国民の反応は、概ね良いと答えた人が60%を越えたと発表されております。改元日の5月1日には「令和万歳」と大人気になっていました。今まではラ行で始まる年号は無かったそうで、斬新、新鮮と捉えた人も多かったようです。SNSでも、チベット語のrewa(希望)に通じるなど、海外でも話題になっていると出ていました。西暦が良いか和暦が良いかという議論も続いています。いずれにしても改元というエポックが人心を一新させ「初心に戻る」という事を気づかせ、「良い年代が続くようにと祝い、祈る」機会を作ったことは間違いのないようです。

\*令和元年の夏の気候はどうなるのでしょうか。4月22日東京では25.6度という初夏日がありました。GW前半は天候には恵まれません。夏は、地球温暖化の影響などにより、全地球で大気全体の温度が高くなっていますが、気象庁の予報によれば、関東太平洋側は、気温や梅雨時の降水量は平年並みで、夏の降水量はやや多いか多くなっています。昨年の夏は特に西日本で大豪雨や地震が多かったことを思い出します。今年は大過ない天候であることを祈りましょう。

\*東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物処理を「いつでも」お受け致します。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



**東港金属株式会社**  
 東京都大田区京浜島2-20-4  
 電話 03-3790-1751  
 URL <https://www.tokometal.co.jp/>  
 (見学受付)  
 電話03-3790-1751 又は 各営業担当

☆ 羅針盤

鉄・非鉄スクラップ・市況からの5月予測

営業部 Y の考察



**鉄スクラップ** → 考察) 4月は、指標となる東京製鉄宇都宮工場の特級価格34,500円/トンでスタートし最終的には29,500円/トンまで下落。下げ止まり感がある中での5,000円/トン下げは、かなり大きな打撃になりました。5月に関しては、国際市況の下落から見てさらに下がると考えられます。

**銅** → 考察) 4月は、米中協議進展からLME6,400ドル/トン、国内銅建値760,000円/トンでスタート。19日は円高にも拘わらず国内銅建値が770,000円にあがりました。5月に関しては連休前からLMEが下がっており、中国製造業購買担当者景況指数がさがっていることから下げが予想されます。

**アルミ** → 考察) 4月はLME1,890ドル/トン台でスタートし円高ドル安を背景にLME1,860ドル/トン台に小刻みに下がりました。5月に関しては、ブラジル・オーストラリア産アルミナ指標の下落から見て下げが予想されます。

**プラスチック** → 考察) 中国へのプラ・雑品輸出がストップし国内処理が大幅に増えたため、廃棄物の行き場が詰まっています。雑品に関しては、シュレッダー業者への持込みが増加。処理しきれず荷止めを余儀なくされる業者も増えており、火災の原因になる電池や、バッテリーの混入も増えていることから、火災のニュースが非常に多くなっています。今後の出荷に際しては、より選別の重視が問われるでしょう。

4月予測の自己評価

鉄スクラップ	○	アルミ	×
銅	○	プラスチック	-

☆ 羅針盤

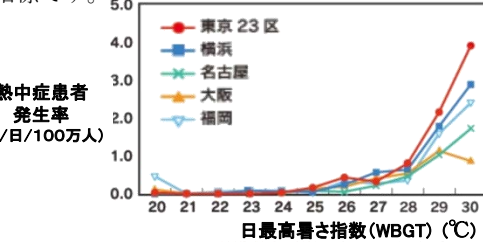
環境省 熱中症予防情報サイト

さて、今回はこれから対応が必要となる熱中症について「環境省の熱中症予防情報サイト」が、「熱中症の予防方法と対処方法」や「暑さ指数(WBGT)の実況と予測」について、とても分かりやすく掲載しておりますので、内容の一部を抜粋して転載いたします。是非、本文を環境省サイトから閲覧していただきたく存じます。

まず、**熱中症**はどのようにして起こるのでしょうか？  
 熱中症を引き起こす条件は、「**環境**」と「**からだ**」と「**行動**」によるものが考えられます。「**環境**」の要因は、気温が高い、湿度が高い、風が弱いなどがあります。「**からだ**」の要因は、高齢者や乳幼児、二日酔いや寝不足の体調不良などが、「**行動**」の要因は、激しい労働や運動などが上げられます。これらが合わさって体内に著しい熱が生じたり、暑い環境に体が十分に対応できないことなどの結果、熱中症を引き起こす可能性が高くなります。

熱中症を疑った時には、放置すれば死に直結する緊急事態であることをまず認識しなければなりません。重症の場合は救急車を呼ぶことはもとより、現場ですぐに体を冷やし始めることが必要です。

**暑さ指数(WBGT:湿球黒球温度)とはなんのでしょうか？**  
 暑さ指数は、熱中症予防を目的として1954年にアメリカで提案された指標で、単位は気温と同じ摂氏度(°C)で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数(WBGT)は人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい ①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。



左図のグラフからも暑さ指数(WBGT)が28°C(厳重警戒)を超えると熱中症患者が著しく増加する様子が分かります。

**暑さ指数の実況と予測を掲載**

情報サイトの地図上の知りたい地点をクリックしてご覧ください。実際の値とは若干異なるのが前提ですが、気象庁の資料に基づき独自の手法で算出した、全国の暑さ指数(WBGT)の予測値と現在の暑さ指数の推計値(実況推定値)を掲載しています。

ほぼ安全 注意 警戒 厳重警戒 危険

東港金属との出会い(2)

営業部 石川 幸子

営業管理課の石川でございます。2回目の投稿となります。子育てが終わり再就職を決めた東港金属の入社初日は、前回お話ししたようにユニホームが用意されておらず、私服での業務スタートとなりました。今回は、過去の仕事と全く違った業界に就職して、五里霧中が終わった初日の心の動揺をお話します。

会社は、現在の台貫計量室の場所が、当時は二階建ての社屋で、1階は台貫の他に受付と事務系の業務全般のフロアで、そこには福田社長のデスクもありました。2階は会議室とロッカーの2部屋でした。

私の担当業務は総務で、入社手続きは1時間もかからず終了。本来ならば会社案内などもあるはずと考えていましたが、当時はそのような事はありませんでした。

何しろ相当緊張していたので・・・総務全般の業務について説明を受けたのですが、今になっては記憶が定かではありません。

早速、業務の引き継ぎから始まりました。「では、備品の発注から始めましょう、見ていてください」担当の方からのこの言葉は忘れてませんが、緊張のあまりメモを取るどころか、頭の中は真っ白でした。

「顔と名前もわからない中、どの人に何を聞けばいいのだろう」不安と後悔が、頭をよぎりました。きちんと理解しないまま、担当の方に指導して頂き、短いようで長い時間は過ぎてゆきました。昼時間になり、案内された食事の場所は、今と変わらず、ロッカーか第二ヤード2階の食堂でした。今よく見かける「アクアクララ」のようなウォーターサーバーや大きなポットはなく2~3人用の卓上ポットが置いてありました。入社初日ですので、簡単に食べられる物を持参していき、担当の方と昼食をとりましたが、案の定、食事はありません。まして、現場の方が大勢昼食休憩をとっており、私には異国の世界でした。こう見えても、かなりの人見知りで自分から話すタイプでは無いので聞かれた事だけを答え、ほぼ無言のままの時間が過ぎ、とても憂鬱な時間だった思い出があります。

昼休憩も終わり、午後の引き継ぎがスタートしました。これと言って、何があった訳ではないのですが、モチベーションは下がり、教えた頂いたことなど、なおさら、頭には入りません。早く初日が終わる事だけを願っていた後悔ばかりで、こんな事では、会社に申し訳ない気持ちと情けなさで心の中は葛藤しておりました。

そして、私にとってはドキドキの波乱な幕開けとなった初日が終わりました。結果、退社時には自分の気持ちは決まりました・・・

今となっては、お恥ずかしいことですが、業務について何を習得したのか、ほとんど記憶にありません。つくづく、職場環境の大切さを痛感して帰路に着きました。

次回へ続く